



里公小だより

【教育目標】
学びとる子 思いやる子 きたえる子
R4年 12月



レクリエーション



金管



科学・実験



手芸



工作



書道

ヤギの卒業式



2学期の間、1年生と過ごしてきたヤギさんが、おうちに帰ることになりました。1年生は、ヤギさんの卒業式をすることにしました。一人一人がヤギさんとの思い出を作文に書き発表しました。ヤギさんの好きな葉っぱでケーキ(?)を作りプレゼントしました。感謝の気持ちをこめて歌い、別れを惜しみました。ヤギを貸してくださった荻谷畜産の方が、「会いにきてもいいですよ」と言ってくださいました。次に会える日が楽しみな1年生です。

いじめについて考える



11月22日(火)に6年生は中学校区の「いじめ見逃しゼロスクール集会」に参加しました。シンガーソングライターのTSUNEIさんから、自身が受けたいじめにどのように立ち向かい、夢を実現するためにどう行動してきたかについて話を聞きました。

TSUNEIさんの話のキーワードの一つに「心が満たされている人は他人をいじめる暇なんかない」がありました。心が満たされている状態とは、心身が安全で安心できる環境にあり、成し遂げたい目標に向かって邁進している状態です。そうあるためにどうすべきかを一人一人が真剣に考え行動することが、いじめをなくす第一歩となると感じました。



里公小学校の「いじめ見逃しゼロスクール集会」は、12月9日(金)に実施しました。校内での感染症の広がりが懸念されたためオンライン集会となりました。各学年をテレビ会議システムでつなぎ、いじめについて考えたことを発表し合ったり、総務委員会の話を聞いたりしました。

人の気持ちを考えて行動や発言に心掛け、いじめのない学校をみんなで作っていこう、という気持ちが高まりました。



「米本陣すまいるクラブ」から図書をいただきました

米本陣を拠点に活動してきた「米本陣すまいるクラブ」が米本陣閉館に伴い6月末に解散しました。それに伴い、クラブの会費の残金を三和区の保育園と小中学校に寄付してくださいました。この度里公小学校にいただいた寄付金で書籍31冊を購入し児童への貸し出しを始めました。「米本陣すまいるクラブ」関係各位に感謝し、児童の学習を深めて参ります。



クラブ活動

校長 小島 淳

令和四年度は、六つのクラブ活動を行いました。学習指導要領が示すクラブ活動の目標の一つに「個性の伸長」があります。クラブ活動が他の教科と違うことは、自分たちが興味をもったことを自分たちのペースでじっくりと取り組むことができることです。また、指導を外部講師か、その分野に詳しい教員が行うため、授業より専門的な知識や技術を体験したり挑戦したりする時間となります。そのため、歓声があり和気藹々な雰囲気のあるクラブがあれば、静かな空間の中で集中して作業に没頭するクラブがあり、その雰囲気は様々でした。しかし、どのクラブの児童の表情からも充実感を感じ取ることができました。

ある海外の研究では二〇〇七年に日本で生まれた子どもの半数が一〇七歳より長く生きると推計されています。百年という長い期間を充実したものにするには、生涯にわたる学習が必要と言われています。外部講師の方々には、それぞれの分野で生涯にわたって学び続けておられ、児童にとってよいお手本と考えます。クラブ活動での経験が、自分の将来を豊かにするきっかけの一つになってくれればと願っています。

学校においていただいているクラブの講師や読み聞かせボランティア、栽培活動の支援の方々以外にも、様々な分野でライフワークとして活動されたり趣味を深めたりしている方が三和区にはたくさんいらっしゃると思っています。コロナ禍ではありますが、より多くの地域の方々と接する機会を設けたいと考えております。是非、里公の子どもたちのためにお力をお貸しください。